

# 労働災害の防止に向けて

## 「平成29年度 国土交通省高山国道事務所工事安全協議会」総会を開催

6月26日(月)、飛騨高山ビックアリーナに於いて、高山労働基準監督署 梅田健貴安全衛生課長を来賓に迎え、「平成29年度国土交通省高山国道事務所工事安全協議会総会」を開催し、60社・90名の企業の方に参加いただきました。

最初に、野津所長が挨拶を述べた後、太田副所長から事故防止に向けた決意表明を行いました。また、高山労働基準監督署梅田安全衛生課長より、「労働災害防止のポイント」と題して、労働災害の発生状況及びこれらの原因と対策について御講演いただきました。



野津所長による挨拶



事故防止決意表明

続いて、事務所各支部（下呂維持、高山維持、神岡維持、中部縦貫道監督官）より各々の現場における事故防止に向けた工夫について報告がありました。



梅田安全衛生課長による講演



安全宣言

最後に、工事安全協議会各支部の支部長（監督職員）、副支部長（受注者代表）が工事安全宣言を読み上げ、

**「見えますか？  
あなたのまわりの見えない危険  
みんなで見つける安全管理」**

をスローガンとして採択しました。

# ～ ともに元気に育って欲しい！～ 宮小学生 バイカモひっこし作戦

宮小学校6年生17名と「水無梅花藻（バイカモ）を守る会」による“バイカモの移植会”が、高山市一之宮町を流れる常泉寺川にて、7月13日（木）に行われました。



※ 高山国道は、近隣で工事を行っており、その関連で本活動に参加しました。

## 梅花藻（バイカモ）って？

きれいな水にしか生育しないキンポウゲ科の水草です。  
（岐阜県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類）  
常泉寺川の水無神社周辺はきれいな湧き水があるのと、  
地元の「水無梅花藻を守る会」による様々な活動にて  
その生息が維持されてます。



川をきれいに！ バイカモを大事に！

バイカモの生息は貴重なんですよ！



「水無梅花藻を守る会」の早川会長より、  
本日の移植作業と、日常の保護活動や清掃  
活動の大事さを教わりました。



飛騨生態調査研究室代表の大森清孝先生より、  
常泉寺川に生息する貴重なバイカモやカワチ  
シャの生態などを教わりました。

あんばようやれるかな！

たと移植出来たな！



守る会の方から直接教わりながら、移植作業を行いました。



作業も後半には、だいぶ手慣れた手つきになっていました。



感想ある人～！

宮小学校では、宮川を事例にして様々な自然学習にも取り組まれておりますので、その影響もあってか作業終了後には

- ・私のふるさとにはバイカモがあるので嬉しい！
- ・植えたバイカモを大切に見守っていきたい。
- ・川にゴミを捨てない！という意識を、みんなが持たないといけない！

などのステキな感想を生徒のみなさまからいただきました。

一之宮の子供達は元気でステキだな！と感じたイベントでした。



早川代表 と 宮小学校の生徒と先生のみなさん

編集・発行

中部地方整備局 高山国道事務所 〒506-0055 高山市上岡本町7丁目425番地

TEL (0577)36-3822 FAX (0577)36-3801 URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

平成29年7月18日発行

担当：計画課